

## 第5回 令和7年度沼田まつり検討委員会（令和9年度沼田まつりに関する意見交換会）概要

□日 時：令和8年3月9日（月）午後6時30分～午後7時41分

□場 所：テラス沼田1階 多目的スペース

□出席者

沼田まつり検討委員会：星野市長（委員長）、井熊会頭（副委員長）、山田観光協会長、中島区長会長、須田副会頭、今井副会頭、塩浦副会頭、須田商業部会長、鈴木商店街連合会長、田邊経済部長、小菅専務理事

須賀神社氏子総代：中町 栗原氏（氏子代表）、小池氏  
鍛冶町 小池氏  
下之町 東宮氏、林  
坊新田町 田中氏  
上之町 佐々木氏  
馬喰町 吉野氏

□意見交換会

（1）沼田まつり検討委員会での検討経過及び令和9年度沼田まつり開催日について

今までの沼田まつり検討委員会での検討経過の説明を行い、その後、令和9年度沼田まつり開催日に対する意見交換を実施した。

〔意見交換会での意見〕

○沼田まつり検討委員会

- ・経過説明でもお伝えしたとおり、伝統ある須賀神社の例大祭の日程変更や神事を変えてくれという内容ではない。検討委員会の経過説明でも話をしたように、開催日に係る実行委員会への意見、要望に対して、これ以上先延ばしすることが出来ないという判断に至った。皆様には非常に厳しい判断をお願いすることになるのも充分承知している。市民総参加で持続可能な沼田まつりの視点からはどうしてもこの提案を申し上げなくてはならないということでもある。
- ・開催日に関することは実行委員会の参加団体から圧倒的に日程変更してくれというご意見が多い。須賀神社の伝統は重んじるべきであり、検討委員会のメンバーも非常に思いことを申し上げているということを充分に承知している。
- ・分離開催もやむを得ないという話があったが、それは市民は誰も望んでいない。
- ・このような会が今までなかったので、6か町の氏子代表の皆様とお話させていただくのが筋であると判断して今回この会議を開かせていただいた。このまま日程について協議もなし、進展もなしとはいかないという判断でもあるので、各町で一度このことをお持ち帰りいただけないかという検討委員会からのお願いでもある。
- ・当初の検討委員会では9月とか10月にできないかという議論もあったのだが、イベントの重複やどうにか神事を現行のままで出来る方法がないかを検討してきていた。各氏子総代でいろいろな思いがあり、両方の意見があるから町での意見集約はかえって町を割ってしまうのでは無いかということでもあったため、その辺は考慮していかないとならないと思っている。

- ・土日に出られる人もいれは平日の方が出やすい人もいる。全部の意見を集約する訳にはいかないといった状況ではあるが、どこかで決断を出していかなければならないということで苦渋の選択をしている。
- ・両方の意見が出ると思っているが、これから人口減少していく沼田のなかでお祭りをどのように展開していくかとか、観光面に対してもどうやったら交流人口が増えて沼田が存続できるかという、そこまで考えていかなければならない。
- ・平日開催時にどうしても祭典委員の方が出づらい、または出られないといった内容があり、担い手がいないということが1番の問題になっていたと思う。
- ・日程の協議を始めて20年近く経っている。団塊の世代の皆さんが第1線を退き始めてきているのが最近であり、担い手が会った圧倒的にいないというのが隠せない事実である。10年度はこのままいくと大変なことになるという危惧もある。
- ・検討委員会は今後の5年先、10年先を見据えて検討した経過と市民全体のことを考えて結論を出し、この内容を伝えている。
- ・いろいろな団体と意見交換させていただき、この10年先は継続している自身がないという団体もいた。それを考えた時に本当に持続可能な祭りとして維持できるかというところが協議のスタートだった。
- ・いろいろご意見、考えがあるのもよく理解しているつもりである。決してそれを失礼に蹴飛ばしていくということは考えていないが、沼田まつりを主催する立場からすると、実行委員会、参加団体から協議をしてもらいたいということを受けてかなり悩んで協議、検討を行ってきており、これ以上の先送りは社会状況を見ても得策でないという所まで来ている。
- ・令和8年度は8月3, 4, 5日の開催で、令和9年度から直近の金土日に合わせていきたいというのがこちらの考えでもあるが、すぐ納得のいく話でもないと思っている。各町においてもこのような話があったということで是非協議いただきたい。

#### ○須賀神社氏子総代

- ・去年の総会でも開催日に関する話はしており、その中で、3, 4, 5日は変更せず、実施するというので決定し、実施した。須賀神社としては3, 4, 5日が例大祭なので、それは動かしたくないというのがある。
- ・須賀神社氏子6か町で運営している神社なので、氏子6か町の一番奉仕いただいている若い子たちの話を取り入れていかなければ神社としても神輿やまんどが出せなくなってしまいうため、若い子の意見をたくさん聞いた。その中で、8月3, 4, 5日で日にちを固定している今の状況だから容易に休みが取れる、1年かけてそこに休みを取れるように仕事をしているから、変えてほしくないという意見を奉賛会の若い子やまんどの人たちから多くもらっている。現場で働いている若い子たちの要望を組み入れて平日が休みの人、土日が休みの人分け隔てなく、平等に年回りによって曜日が動く8月3, 4, 5日の例大祭という形で続けて欲しいということで意見もいただいているので、今のところ神社として意見を変える考えはない。
- ・祇園祭と沼田まつりが昭和45年に一緒になったが、その前までは別開催でもあったので、別開催になってもしょうがないのかなと言うのが若い子たちの意見でもある。
- ・担い手不足や何が平等かという話はそれぞれ働いている立場で違うのかなと思う。8月3, 4, 5日を変えるというのは結局担い手不足と健康への影響が合ったのかなと思っている。

- ・持続可能という点でいうのであれば町民の人数が減ってくるので、それぞれの財政も減ってくると思う。今までやってきたようなことが難しくなるだろうと思っているので、このようなことも含めて考えていかないとならないと思う。
- ・町の全員に意見を聞いたりアンケートを取ったわけではないので、本当の意見か分からないが、町の会議では熱中症については夕方から開催した方がいいのではないかとという意見は多く出ていた。3, 4, 5日については変える変えないというような意見は出ていない。
- ・今の沼田まつりに参加している方については、沼田まつりを神事として執り行っているという意識が変わっているのかなと思う。
- ・去年の沼田まつりの際に町の祭典委員会の中で、できる限りのことをやればいいからということで頼まれてやっていたが平日は仕事があって出られないということを行った方がおり、これに対して選ばれた以上3日間出してくれと強く言った方がいた。今年びっくりしたのが新年度の役員名簿で祭典委員が女性ばかりとなってしまう、まんどが曳けないのでどうしようかという状況になってしまっている。
- ・土日開催がどうかということ町の中で決めるということは、町を割ることになってしまう。
- ・お祭りに自発的に参加している人たちもいるなか、祭りを運営している人は地区委員や班長などと同じように持ち回りや話合いでお願いする等の形でやっていて、全ての人が平等に役割をしているわけでもある。基本的にはボランティアでもあるので、仕事があって出られないことに対してそれはダメだということとは言えない。そういう意味では平日にお祭りをするというのは不可能だと考えている。
- ・昔から町で生業をやっている方でも沼田市から引っ越してしまっている状況でもある。朝、伊熊の信号を見てもらえば分かるが、沼田に仕事しに来る人が多くなっていて、沼田から仕事をしに行く人は減ってきている。だから、お祭りはあるけど、仕事が休めないというような、沼田から仕事に出て行っているような人を大事にしていけないと、町が立ちゆかなくなるんじゃないかと思う。
- ・町の中で意見を聞いても3, 4, 5日開催、金土日開催の両方の意見があり、結論が出せない状況である。
- ・氏子代表が須賀神社の意見をだし、話をしているのに、なぜここに全員集めているのかと思った。
- ・町としては須賀神社に従うしかないと思っている。
- ・土日に縛ると平日が休みの人は常に休みのやりくりを強いられる形になってしまう。お祭りに出られないでも作業は出してくれる人もいるが、土日に固定してしまうと作業は誰がやるのかという話をしている人もいるということを入れておいてほしい。
- ・金土日にした場合に人が増えるとかの保証はあるのか。3, 4, 5日と金土日で人が増えたり減ったりとかのデータがあるのか。
- ・金土日にこだわる理由が分からない。3, 4, 5日の方が皆さんの思いがあるので、こっちを大切にしたい方がいいのではないかと。人がいなくなってきた場合、金土日でもダメになる場合があると思うので、3, 4, 5日にこだわってやっていった方が、みんな一致団結してやっていけるのではないだろうか。